

令和7年度 南箕輪中学校 グランドデザイン

学校教育目標

人には やさしく 暖かく 自らは厳しく 正しく 健やかに たくましく

元東京学芸大学学長 高坂正顕先生 昭和41年12月23日 制定

めざす学校の姿

「笑顔あふれる南中」
校章の3つのMの活動を通して、
健やかに たくましい 生徒を育てる

願う生徒の姿

互いの考えを伝え、
学び合う生徒

当たり前のことを
当たり前に行う生徒

よさを認め合い、自己
肯定感を高める生徒

南箕輪村の特徴

・中央・南アルプスを望む田園と畑作地帯、約100haの平地林を有する大芝高原を中心に農・工・商・住宅地が調和のとれた村
・人口が順調に増加して平均年齢が若く、保育園から大学まで多様な教育機関があり、子育て環境などの充実を

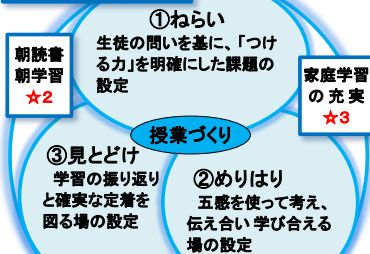
南箕輪中学校の特徴

・南箕輪小と南部小の2つの小学校区から通う村に1つの中学校
・経ヶ岳強歩大会や落ち穂拾いなど村を舞台にした行事が伝統の中学校

M 学び合い

研究テーマ
確かな学力をつけるための授業づくり

教科学習指導 ★1



地域講師による放課後学習 ★4

友に学ぶ ↔ 一人で学ぶ ↔ 共に学ぶ

総合的な学習の時間
「わかたけタイム」

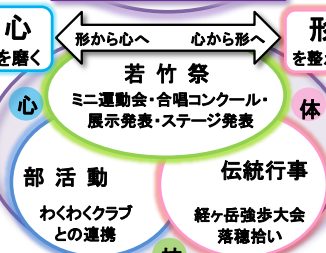
南箕輪村のもの・ひと・こととの関わり ★5

問題解決学習・実習体験活動・自己の生き方・郷土への愛着
学年行事との連携
大芝体験学習・学校林作業・西駒登山・修学旅行
職業体験学習・高校体験学習

★学力向上

M 磨き合い

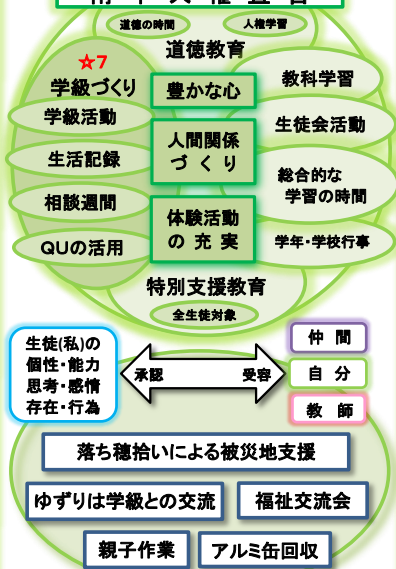
規則正しく 潤いのある生活づくり
凡事徹底 ★6



M 認め合い

居場所がある・所属感がある
もてる学級・学校づくり

南中人権宣言



授業づくりと学級づくりを柱とした学力向上の取組(★)

- 1 全校研究テーマに基づく教科研究・個人テーマによる授業研究、職員同士の相互参観授業による授業力向上の研修(年2回)
全国学力調査、PDCAサイクル事業、NRT検査による学力実態分析、授業づくりの礎となる職員研修の充実
小中高等で連携した研修・研究やICT教育の推進
- 2 毎日の日課に位置づけた朝読書や朝学習。
- 3 全職員参加によるグループ研究
- 4 地域講師を中心にした「放課後学習」による個別指導の継続的実施
- 5 体験的な活動を重視し、自己の生き方を考えることができる、学年に応じた総合的な学習の時間の推進
- 6 生徒会活動や部活動の充実による規則正しい生活リズムづくり
- 7 授業づくりの土台となる、やさしさを基調としたあたたかな人間関係のある開かれた学級づくり(「温かな学級づくり」)

全員の学ぶ場所を保障する不登校対策を柱とした生徒指導

適応指導 進路指導 清掃指導 保健指導 給食指導 心の相談室 悩みごと相談・セクハラ相談 わかたけの会

「南中人権宣言」の精神に基づく心豊かな学びを支える各種教育

特別支援教育 人権教育 福祉教育 視聴覚教育 情報教育 国際理解教育 環境教育 図書館教育 安全教育(交通安全、防災、防犯)

地域と共にある学校づくりを進めるPTA活動と信州型コミュニティ・スクール等の推進

教養文化・施設厚生・父親母親・学年などのPTA活動 関係機関と緊密に連携したサポート体制
地域のもの・ひと・ことを通して学ぶ総合的な学習の時間・放課後学習・部活動などを柱とした信州型コミュニティスクール

日課の調整、検証